

## 令和元年度 学校関係者評価報告書

学校法人旭川荘  
 厚生専門学院学校関係者評価委員会  
 委員長 杉本 尚平

「令和元年度学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いましたので、下記のとおり報告します。

## 記

## 1. 実施方法

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各委員が一堂に会しての評価委員会を中止し、書面による評価を実施した。

## 2. 学校関係者評価外部委員（以下、「外部委員」という。）

岡山県立瀬戸南高等学校	校長 安井 盛	旭川児童院看護課	課長 大月 道子
旭川荘厚生専門学院後援会	会長 岡崎 倫三	旭川荘いづみ寮	副寮長 佐々木亮治
ひらたえがお保育園	園長 江田加代子		

## 3. 実施方法及び公表

「令和元年度学校自己評価」を外部委員が確認し、各項目に対する意見と評価をとりまとめた。評価結果は、今後の教育活動や学生指導等、学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表する。

## 4. 評価及び意見

評価項目に対する外部委員の評価及び意見、提案（以下、「評価等」という。）は、別添、「書面 評価表」のとおり。

非常に適切	10～8
適切	7～6
やや不適切	5～4
不適切	3～1

## 学校関係者評価（元年度実績）書面評価表

## I 教育理念・目的

評価項目	自己評価：7.5			関係者評価(各委員)		8.0
	平均	旭川	吉井川	安井	9	
①学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	8.0	8.1	7.6	江田	8	8.0
②学校における職業教育、指導内容の特色が明確になっているか	8.0	8.0	7.8	大月	8	
③社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を持っているか	6.9	7.1	6.3	佐々木	7	
④学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想が広く周知されているか	6.9	7.1	6.3	岡崎	8	
⑤各学科の教育目標、育人人材像は、関係業界のニーズに合致しているか	7.8	7.7	8.1	計	40	
自己評価主要記述	①課題 ◇他校との違い、特色を明確にした広報の開発 ②今後の改善方策 <input type="checkbox"/> 本学のセールスポイントの明確化（「旭川荘」との連携のみでは限界がある） <input type="checkbox"/> ディプロマポリシー（※）を策定し、本学での学生の成長を具体的に表現する。 ※教育理念に基づき、どのような力を身に付けた人材を養成するのかを定める基本方針 ③特記事項 ☆入学後のオリエンテーションで、教育理念を伝え、目標とする人物像に向けた意識を高めている。					
関係者評価委員 意見記述欄	〔江田委員〕 ・教育理念、目的等は明確化されているので、このままで良い。 〔佐々木委員〕 ・キャンパスが分かれていて、特色や魅力が伝わりにくい ・学校より施設色が強い					

## 2 学校運営

評価項目	自己評価：7.3			関係者評価(各委員)		7.2
	平均	旭川	吉井川	安井	8	
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	7.3	7.3	7.0	江田	7	
②運営方針に沿った事業計画が策定されているか	7.2	7.3	7.0	大月	7	
③運営組織や意思決定機能は規則等で明確化され、有効に機能しているか	7.2	7.2	7.0	佐々木	6	
④人事、給与に関する規程等は整備されているか	7.4	7.4	7.4	岡崎	8	
⑤教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	7.4	7.4	7.4	計	36	
⑥業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	7.3	7.4	6.8			
⑦教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	7.6	7.7	7.2			
⑧情報システム化等による業務の効率化が図られているか	6.7	6.5	7.5			
自己評価 主 要 記 述	①課題 ◇キャンパスが2カ所の非効率性 ◇事務処理システムの老朽化 ②今後の改善方策 □将来構想の策定（キャンパス統合・改築構想等） □IT教育環境整備 ③特記事項 ☆年度当初、学院長・学科長より教育方針・教育目標が示される。 ☆業務執行に関する重要事項は、職員会議、教務主任会、課科長会等で方針を決定している。 ☆教育活動に関する情報はホームページで公開している。					
関係者評価委員 意見記述欄						
〔江田委員〕 ・2か所にキャンパスが分かれているのは非効率だと思う。統合して効率化を図った方が良い。						

## 3 教育活動

評価項目	自己評価：7.1			関係者評価(各委員)		8.0
	平均	旭川	吉井川	安井	9	
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか	7.8	7.7	7.9	江田	8	
②教育理念、育成人材像、業界ニーズを踏まえた教育目標の策定	7.6	7.5	7.8	大月	7	
③学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	7.6	7.3	8.5	佐々木	8	
④キャリア教育・実践教育の視点に立つカリキュラムや教育方法の工夫・開発	7.5	7.3	8.2	岡崎	8	
⑤業界団体・関係施設等との連携によるカリキュラム作成・見直しの実施	7.1	7.1	7.3	計	40	
⑥関連分野における実践的職業教育が体系的に位置づけられているか	7.4	7.3	7.7			
⑦授業評価の実施・評価体制はあるか	6.6	6.6	6.5			
⑧職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	6.1	6.2	5.8			
⑨成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	7.6	7.7	7.2			
⑩資格取得等に関する指導体制やカリキュラムの体系的な位置づけはあるか	7.8	7.8	8.1			
⑪人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる教員を確保しているか	7.1	7.0	7.7			
⑫関連業界等と連携した優れた教員確保等マネジメントが行われているか	6.7	6.6	6.8			
⑬先端的知識・技能の修得等教員の資質向上の取組が行われているか	6.5	6.4	6.7			
⑭職員の能力開発のための研修が行われているか	6.4	6.6	5.9			
自己評価 主 要 記 述	①課題 ◇学生の多様化に対する個別指導 ◇資質向上のための授業評価の実施 ◇優秀な外部講師の確保 ②今後の改善方策 □外国人留学生の日本語学習支援体制の整備 □教員サポート職員配置（教務助手）→資質向上のための研修時間等の確保 □旭川荘との連携による外部講師任用の工夫 ③特記事項 ☆先輩を招いた就職ガイダンスの実施 ★旭川荘主催の各種研修会への参加が進んでいない					
関係者評価委員 意見記述欄						
〔安井委員〕 ①瀬戸南高校は、毎年、介護福祉学科の「事例研究会発表会」に参加させていただいており、本校卒業生が高校時代より遙かに成長していると感じます。旭川荘の先生方のきめ細やかな指導の賜であり、個々の生徒の持ち味を上手に引き出していただき、"旭川荘なら安心"と我々教員は思っています。 ②他の専門学校より夏休みが短く、勉強する機会が多くて良い。人の命を預ける職業人育成のためには当然しっかり勉強してもらいたいし、また、課題もしっかり出していただき実力がつくと卒業生は言っています。 ③吉井川キャンパスは少し遠いが、そのキャンパスの中でしっかりと実習ができるのは良いと卒業生は言っていました。 〔江田委員〕 学院の理念や教育成果をしっかり伝え、その内容に共感し、協力してくれる優秀な外部講師の方に来ていただくと良い教育活動につながると思います。 〔佐々木委員〕 ①多様な学生への支援（家庭、個別、国籍等）がより必要ではないか。 ②落ちこぼれない支援が大切 ③インクルーシブな教育環境が必要〔ハンディキャップをもつ人を排除しない教育環境？〕						

#### 4 教育成果

評価項目	自己評価：7.4			関係者評価(各委員)		7.6
	平均	旭川	吉井川	安井	8	
①就職率の向上が図られているか	8.2	8.0	8.7	江田	8	7.6
②資格取得率の向上が図られているか	8.3	8.2	8.5	大月	7	
③退学率の低減が図られているか	7.2	6.9	8.1	佐々木	7	
④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	6.9	6.7	7.7	岡崎	8	
⑤卒業後のキャリア形成効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	6.6	6.4	7.3	計	38	
自己評価 主 要 記 述	<p>①課 題 ◇就職率が高い一方、離職率の把握及び卒業後の活躍を十分把握できていない ◇国家試験に向けた個別支援の在り方 ◇入学直後の学習不適應への対応</p> <p>②今後の改善方策 □卒業生に対応できる相談体制、里帰り研修及び就職先との連絡・連携体制の整備 □個別及び集団学習、国試サポート支援体制のあり方、入学試験及び教育方法の工夫</p> <p>③特記事項 ☆資格取得は国家試験合格が前提で、入学時より万全の体制で指導している ☆退学者、休学者を減らすため教員を専門研修会へ派遣している</p>					
関係者評価委員 意見記述欄						
〔安井委員〕 岡山医療福祉専門学校介護福祉学科・看護学科とカリキュラムが似ていて立地の面で生徒が流れていると感じます。また、取得できる資格が若干、旭川荘より多く取れると生徒が言っていたので、簡単に取得できる資格だとしても、パンフレット等書かれると、生徒の目を引く傾向が強いと思います。						
〔江田委員〕 資格取得のため、また、退学者及び休学者を減らすための努力は、全科あげて丁寧に指導されていると思います。そういった指導を通して、福祉の心を持った人材に育っていると思います。						

#### 5 学生支援

評価項目	自己評価：7.4			関係者評価(各委員)		7.8
	平均	旭川	吉井川	安井	8	
①進路・就職に関する支援体制は整備されているか	8.1	7.9	8.7	江田	8	7.8
②学生相談に関する体制は整備されているか	7.8	7.9	7.5	大月	7	
③学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	8.0	8.0	8.0	佐々木	8	
④学生の健康管理を担う組織体制はあるか	7.5	7.5	7.5	岡崎	8	
⑤課外活動に対する支援体制は整備されているか	7.0	6.9	7.5	計	39	
⑥学生の生活環境への支援は行われているか	7.0	6.9	7.4			
⑦保護者と適切に連携しているか	7.9	7.9	8.1			
⑧卒業生への支援体制はあるか	7.2	7.1	7.6			
⑨社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	6.5	6.4	7.0			
⑩高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の実践	6.6	6.6	6.5			
自己評価 主 要 記 述	<p>①課 題 ◇学生相談のニーズに応えられていない（支援が必要な学生の増加）</p> <p>②今後の改善方策 □クラス担任制をベースとした学生担当制の効果を検証する（児童で試行）</p> <p>③特記事項 ☆保護者と連携した学生指を、今後とも継続する</p>					
関係者評価委員 意見記述欄						
〔江田委員〕 学生相談室以外に、各科に教員へ相談できるような部屋があれば、いろいろな問題が早く解決できるようになると思う。						

## 6 教育環境

評価項目	自己評価：6.6			関係者評価(各委員)		6.8
	平均	旭川	吉井川	安井	8	
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	6.0	5.4	8.0	江田	6	6.8
②実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制整備	7.0	6.8	8.1	大月	6	
③防災体制は整備されているか	6.7	6.5	7.6	佐々木	6	
自己評価 主 要 記 述	①課 題 ◇施設設備の経年劣化 開校50年を目前に控え、検討の着手(旭川キャンパス) ◇防災訓練の充実 ②今後の改善方策 <input type="checkbox"/> 財源確保 <input type="checkbox"/> 校舎清掃の業者委託(衛生面の改善) 入学時に避難生活用の水・食料(3日分)を用意させる ③特記事項 ★財源確保を踏まえた建物補修と改築の内部検討			岡崎	8	6.8
関係者評価委員 意見記述欄				計	34	
〔大月委員〕 社会福祉法人と共同出資で「教育センター」を設立し、教育設備(シュミレーションモデル等)の拡充を図る。 〔実習室、研修室、多目的ホールなどの活用〕  〔江田委員〕 校舎がきれいになれば、また、使いやすい建物になれば少しは学生増につながると思う。						

## 7 学生募集

評価項目	自己評価：7.2			関係者評価(各委員)		7.0
	平均	旭川	吉井川	安井	9	
①学生募集活動は、適正に行われているか	7.3	7.6	6.2	江田	7	7.0
②学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	7.0	7.3	6.0	大月	6	
③学納金は妥当なものとなっているか	7.4	7.4	7.3	佐々木	6	
自己評価 主 要 記 述	①課 題 ◇すばらしい教育実践を発信できていない ◇母体の旭川荘や、本学を知らない人が多いことへの対応 ②今後の改善方策 <input type="checkbox"/> ガイダンスの工夫 高校教員を通じて高校生のニーズを把握し、ニーズに合った本学の良さを整理する <input type="checkbox"/> 男子寮設置、高島駅からのバス増便、親族枠特典の旭川荘職員への周知、在学生の母校訪問 ③特記事項 ☆広報方針を策定する企画広報委員会の活性化 ☆高校生及び保護者は学科からの情報発信に関心がある			岡崎	7	7.0
関係者評価委員 意見記述欄				計	35	
〔安井委員〕 ①AO入試に関しては、試験日9月19日は適切な日程であり、また、入学検定料が半額であるのは、生徒の目につきやすくありがたい。 ②指定校推薦の試験日が10月10日は若干遅く感じます。 ③指定校で受験する生徒は、「学校代表」として前向きな良い生徒であるため、授業料半額などの特典があれば、進路指導がしやすい。 ④専願であれば、入学金の1/3免除はありがたい。  〔江田委員〕 すばらしい教育実践をしっかり発信できるよう工夫していただきたい。 場所的に便利が悪い、駅から遠い等の理由は、受験生にとって大きな問題のように思う。  〔岡崎委員〕 努力されていますが、他校との差別化を図って、志願者の減少がないよう工夫が必要と思う。  〔佐々木委員〕 広報(入口)と就職(出口)の活動、支援がもっと必要ではないか						

## 8 財務

評価項目	自己評価：6.4			関係者評価(各委員)		6.4	
	平均	旭川	吉井川	安井	8		
①中長期的に財政基盤が安定しているか	5.1	5.1	5.0	江田	6	6.4	
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	6.1	6.1	6.0	大月	6		
③財務について会計監査が適正に行われているか	7.3	7.4	6.5	佐々木	5		
④財務情報公開の体制整備はできているか	7.3	7.2	7.5	岡崎	7		
自己評価 主 要 記 述	①課題 ◇入学者減少により財政は苦しい ◇施設整備資金の不足 ②今後の改善方策 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人旭川荘との経費負担の適正化 ③特記事項 ★将来構想策定には財政問題の解決が重要 ☆財務情報はホームページ上で公開している					計	32
関係者評価委員 意見記述欄							
〔江田委員〕 財務改善には、学生を増やすしか考えられない。							
〔岡崎委員〕 入学者が増加し、財政面の改善、魅力ある学園となるよう、大変ですが、がんばってください。							

## 9 法令遵守

評価項目	自己評価：7.5			関係者評価(各委員)		8.0	
	平均	旭川	吉井川	安井	8		
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	8.0	8.0	7.5	江田	8	8.0	
②個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	7.6	7.7	7.5	大月	8		
③自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	6.8	6.7	7.0	佐々木	8		
④自己評価結果を公表しているか	7.5	7.4	8.0	岡崎	8		
自己評価 主 要 記 述	課題 ◇自己評価による問題点を改善するプロセスの確立 ②今後の改善方策 <input type="checkbox"/> 学校評価委員会での外部意見を学校運営に反映させる <input type="checkbox"/> 自己評価で明らかとなった問題点、改善点は実現可能な事項から順次取り組む ③特記事項 ☆設置基準は適正に遵守している 自己評価結果はホームページ上に掲載し広く周知している					計	40
関係者評価委員 意見記述欄							
〔江田委員〕 ほぼ適正な運営がなされていると思う。							

## 10 社会貢献

評価項目	自己評価：8.1			関係者評価(各委員)		8.4
	平均	旭川	吉井川	安井	10	
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	7.9	7.9	8.2	江田	8	8.4
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	8.3	8.3	8.8	大月	8	
③地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	8.1	8.0	8.8	佐々木	8	
自己評価 ①課題 ◇人的資源等の地域開放 保育士・介護福祉士養成事業（県事業）の本学独自広報 ②今後の改善方策 □学校行事等を通じた地域と関わる機会の増加（児童福祉学科「あそぼう屋」等） ③特記事項 ☆リズム棟（体育館）→岡山市指定避難所で地域の防災拠点、地域スポーツ団体（剣道）に開放 ☆ボランティア活動や旭川荘施設でのアルバイトを奨励している ☆県の要請に基づき、離職者を対象とした保育士及び介護福祉士養成を行っている				岡崎	8	
				計	42	
関係者評価委員 意見記述欄						
〔安井委員〕 瀬戸南高で実施している介護職員初任者研修に中西先生と小淵先生の二人に講師としてきていただき、生徒との人間関係もでき、旭川荘が身近な存在になっています。お二人の先生には感謝です。 〔江田委員〕 今後も引き続き社会貢献を行っていただきたい。 ボランティア人口が増えるよう、ボランティア活動の魅力を伝えていくことも大切だと思う。 〔岡崎委員〕 マスコミも動員したボランティア活動ができないでしょうか。TV、新聞の効果は大きいと思います。 知名度アップ、学院の名前を知ってもらうことが重要 旭川荘は知っていても、厚生専門学院を知らない人が大半です。 〔佐々木委員〕 学院生のボランティア姿はよく見かける。						

## 11 旭川荘との連携

評価項目	自己評価：7.6			関係者評価(各委員)		7.4
	平均	旭川	吉井川	安井	8	
①行事等においてお互い協力できたか	7.8	7.8	7.8	江田	8	7.4
②旭川荘と連携した教育活動ができたか	8.1	8.0	8.5	大月	7	
③人事交流を行っているか	7.3	7.5	6.5	佐々木	6	
④旭川荘への就職希望者はいるか	7.2	7.1	7.6	岡崎	8	
自己評価 ①課題 ◇旭川荘への就職希望者はいるが、採用試験に合格できない場合もある ◇希望分野と配置先の不適応で、旭川荘を敬遠する学生が多い（保育士を老人福祉施設へ配置など） ②今後の改善方策 □旭川荘が求める人材像を学生及び本学が共有したうえで、旭川荘就職対策を実施する □本学推薦枠の創設 各施設から学生への魅力発信 ③特記事項 ☆旭川荘職員は外部講師として本学教育の一端を担っている ☆旭川荘各施設でのアルバイト及びボランティア活動を奨励している ☆社会福祉法人と連携し、留学生の日本語学習や生活支援を行っている				計	37	
関係者評価委員 意見記述欄						
〔大月委員〕 社会福祉法人各施設や岡山支援学校を拠点とした1日ボランティア活動 旭川療育園ティーボール大会の応援、南地区周辺の「1日環境ボランティア」など 岡山支援学校行事支援ボランティア 〔江田委員〕 旭川荘の新規採用者については、できるだけ希望の施設へ配置していただければ、合格者も納得いくと思う。 配置先が分からないことが、採用試験を受けないと言うことを学院の卒業生が言っている。 〔佐々木委員〕 旭川荘の魅力が学生に伝わっていない 採用試験に学院枠を創設する 「高齢・障害」分野では、旭川荘の各施設は、一生の仕事としたときには、かなり良い施設である。 児童分野にしても、障害福祉分野の児童施設への就職が少なく感じられる。						